

2020 年度後期における「学生による授業評価アンケート」に対するコメント

2020 年度後期における「学生による授業評価アンケート」の実施に際しましては、ご協力いただいた学生の皆様並びに非常勤講師の皆様、専任教員の皆様に感謝申し上げます。

2020 年度は covid-19 によって本学も大きな影響を受け、前期授業においてはほぼ全科目において遠隔授業となりました。しかし、学生も教員もはじめて直面するこの事態に対して、落ち着いて対応がすることができ、大きな混乱もなく遠隔授業を進めていくことができました。前期はこうした状況であったため、これまで行ってきた「学生による授業評価アンケート」は実施せずに、「前期遠隔授業に関する学生アンケート」を実施いたしました（2020 年 11 月報告）。後期におきましては、一部の科目は遠隔授業での実施となり、また緊急事態宣言等により数回は全科目遠隔授業へ切り替えたりということもありましたが、多くの科目においては covid-19 に対する感染予防対策を行いながら対面授業で実施することができました。このように例年とは異なる授業実施状況ではありましたが、後期科目におきましては「学生による授業評価アンケート」を実施することができました。

さて、長い前置きとなりましたが、ここからは 2020 年度後期における「学生による授業評価アンケート」の全体の結果を概観していくことにします。まず、例年と比べて大きな変化としては、回答率の低下が生じました。これまで回答率はおおよそ 8 割程度あったのですが、今年度は 5 割を切ってしまいました。これは、今回、covid-19 に対する感染予防対策の一環として、紙媒体を用いてのアンケートの実施から、UNIVERSAL PASSPORT の授業アンケート機能を用いての実施へと、実施方法を変更したことによるものと思われます。WEB を利用しての授業評価アンケートの回答率は低いと一般的に言われていますが、その通りの結果になったということかと思えます。今後は FD・SD 委員会において、WEB を利用した方式であっても、回答率を保てる方策を検討して参ります。

回答率が 5 割を切っていることから、結果の解釈には慎重であるべきことを踏まえて、以下に今年度後期における全体的な特徴を述べていくこととします。まず A 領域の「あなた自身について」ですが、③の学習時間を除く、①から⑥すべての項目において「1 そう思う」と「2 ややそう思う」を合わせたポジティブな反応が 6 割以上となっておりました。「4 あまりそう思わない」と「5 そう思わない」を合わせたネガティブな反応は、すべて 1 割を切っていました。こうした結果から、学生の皆さんの学修状況としては、授業の出席率は非常に高く、尚且つ、授業には積極的に参加されていました。そして、受講生の多くは授業で学修した領域をさらに深く学びたいと思うようになり、シラバスに掲げられている到達目標を達成できそうだと感じています。こうしたことからか、授業全般に対する満足度も高いものになっていました。アンケート結果からはこのようなことが推測されます。

次に、B 領域の「授業や教員の教え方について」ですが、⑦から⑩のすべての項目において「1 そう思う」と「2 ややそう思う」を合わせたポジティブな反応が 5 割以上となっておりました。「4 あまりそう思わない」と「5 そう思わない」を合わせたネガティブな反応は、

⑧は14%でしたが、その他はすべて1割を切っていました。こうした結果から、受講生の多くは、教員は学習目標を伝え、個々の受講生の理解度にある程度気を配りながら、授業に集中できるようにある程度教室をコントロールし、質問にもある程度応じていた。アンケート結果からはこのように認識していたことが推測されます。

こうした傾向は昨年同様であり、大変好ましい結果といえ、まとめると「授業中において、受講生は積極的に集中して取り組み、到達目標を達成できそうな程度に学修できており、さらに学んでいきたいと思っている。」、そして「教員は受講生が学習しやすい環境を整えている」、本学の学生はこのような認識を持っていることが推測されます。

しかし、昨年同様、大きな課題が解決されないままにあることが見えてきました。それは、予習や復習に費やした時間が少ないということです。学修者本位の教育が展開されていくためには、授業の質の向上と同時に、受講生が授業時以外でも主体的に積極的に学修していく必要があります。したがって、授業時以外でも学生が主体的に学修していくことができるための授業作りとそのための学生支援の在り方を検討していくことが、我々教員に求められている重要な課題といえます。この課題解決をめざして、今後のFD・SD活動に取り組んでいきたいと考えております。教職員の皆様におかれましては、ご理解とご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

FD・SD 委員会委員長 須河内 貢

授業評価アンケート

2020年度 後期

授業コード：

授業科目名： 全 体

受講者数： 14022名

担当教員名：

回答者数： 6265名

学科	人間科学部 社会福祉学科	人間科学部 医療福祉学科 介護福祉専攻	人間科学部 医療福祉学科 視能訓練専攻	人間科学部 子ども保育学科	人間科学部 健康心理学科	人間科学部 医療心理学科 臨床発達心理専攻	人間科学部 医療心理学科 言語聴覚専攻	人間科学部 理学療法学科	心理学部 心理学科
	1188	191	510	1113	692	372	269	360	521

学科	保健医療学部 理学療法学科	保健医療学部 作業療法学科	保健医療学部 言語聴覚学科	学年	1年次	2年次	3年次	4年次
		534	261		250	3094	1859	1002

設問No	設問文	1	2	3	4	5	*全平均
		そう思う	やや そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	そう 思わない	

A.あなた自身について

①	この授業への出席割合は 1.毎回 2.ほとんど 3.3分の2ぐらい 4.半分ぐらい 5.半分未満	4012	1731	384	62	76	4.52
②	授業に積極的に参加した	2841	2420	735	183	70	4.24
③	この授業1回あたりで予習や復習に費やした時間は 1.2時間以上 2.1時間以上~2時間未満 3.30分以上~1時間未満 4.30分未満 5.全くしていない	345	1192	1900	1616	1200	2.66
④	授業を受けて、関連領域をさらに深く勉強したくなった	1751	2638	1328	361	184	3.86
⑤	シラバスで掲げられている到達目標を達成できそうだと	1337	2760	1686	344	137	3.77
⑥	この授業全般についてあなたは 1.満足である 2.やや満足である 3.どちらでもない 4.やや不満である 5.不満である	2154	2406	1277	293	128	3.99

B.授業や教員の教え方について

⑦	学生が集中しやすい授業だった	2505	2073	1223	318	137	4.04
⑧	授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった	1863	1766	1771	606	255	3.70
⑨	学生の理解度を確認しながら授業が行われていた	1944	1959	1612	492	257	3.77
⑩	授業の学習目標を学生に伝えていた	2308	2249	1343	232	133	4.02

